

わく楽通信

わく楽通信
月刊情報誌

2017年10月号



I 生きがいを見つける Information C 心つながる Communication T ともに学ぼう Technology

7月の方が真夏だったのではないか、と感じられるくらい、雨の日が多かった8月。台風が来た9月。そして迎えた10月、朝夕は寒くなり陽が昇るのは遅くなり、夕方はあっという間に陽が沈むようになってきました。もう秋ですね。

みなさんが「秋」を感じるのはどんな時ですか？ スーパーの食材を見た時？ 虫の音を耳にした時？ それとも空を見上げ、雲の様子を目にした時でしょうか。

- 気象庁の区分では9～11月が秋。
- 暦の上では8月7日の立秋から、11月6日（立冬の前日）までが秋。
- 天文学上では、9月22日の秋分の日から12月20日（冬至）の前日までが秋。

「昔はもっと涼しかった気がする」と生徒さんがよくおっしゃいます。季節の変わり目で、風邪をひく方もいます。風邪はのどから来ることもあります。のどの不調を感じたら、次のようにして蒸気を吸いこみ、のどを潤してみたいかがでしょう。

- 1) お湯を沸かす
- 2) ボウルなどに熱いお湯を注ぎ、アロマオイルなどがあれば数滴入れる。
「ユーカリ」は抗炎症作用、殺菌効果があり、鼻詰まりやのどの炎症を抑える効果があるとされています。
- 3) バスタオルを頭からかぶり、ボウルに顔を近づける。
- 4) 蒸気を逃がさないようにバスタオルでボウルごと覆い、大きくゆっくりと呼吸をしてのどに蒸気を吸いこむ。
※やけどに注意してください

今月の話題

忘れていない(171)?

災害用伝言ダイヤル

災害時には電話がかかりにくくなります。電話で安否確認をしようとしても、時間がかかるばかりで余計に不安が募ります。災害時に家族と連絡が取れない……。電話が繋がらない……。連絡が取れずないと、待つ方もつらいです。「メールがあるじゃない」「LINEで連絡すれば」「メッセージだってあるし」でも、そのどれもが使えない状況、可能性も考えておかななくてははいけません。

連絡手段は一つでも多く知っているほうがよいのです。いざという時に、音声で伝言を残せるサービスが「災害用伝言ダイヤル 171」です。番号の覚え方は「忘れていない(171)?」です。

電話をかけると、音声メッセージで使い方が案内されます。でも、初めて使う場合「これであっているのかな？」と戸惑うことがあります。慌てている時はなおさら、落ち着いて操作できないことだってあるでしょう。

災害用伝言ダイヤルの体験利用提供日があります。毎月体験できる日があるので、ぜひ一度利用して、使い方に慣れておきましょう。

- 毎月1日・15日 00:00～24:00
- 正月三が日
(1月1日00:00～1月3日24:00)
- 防災週間
(8月30日9:00～9月5日17:00)
- 防災とボランティア週間
(1月15日9:00～1月21日17:00)

今月の質問

▼iPad や iPhone の歯車に数字が出るのは、
どういう意味？

この赤い数字は、iPad や iPhone をご利用の方
に表示される、iOS (アイオーエス) のアップ
デート (更新) を「通知」
するためのものです。

9月の中旬ごろに、新しい
iOSがリリースされました。
名前をiOS11(アイオーエ
スイレブン)といいます。



パソコン・タブレット・スマートフォンは、基
本プログラムである「OS」がアップデート (更
新) されるたびに、進化を繰り返し、今までに
なかった機能が追加されたりします。

大きなアップデートには多少時間がかかったり
します。過去には、写真などのデータが消えて
しまったという事例もあります。

写真や電話帳、アドレス帳などのバックアップ
(保存) などを確認してからアップデートする
ようにしてください。

用語辞典

◆サクラサイト◆

“サクラサイト”とは、サイト業者に雇われ
た“サクラ”が異性、芸能人、社長、弁護士、
占い師などのキャラクターになりすまして、
消費者のさまざまな気持ちを利用し、サイト
に誘導し、メール交換等の有料サービスを利用
させ、その度に支払いを続けさせるサイトを
言います。

このような“サクラサイト”でお金を支払っ
てしまったという相談があとを絶ちません。
国民生活センターでは、このような手口を“**サ
クラサイト商法**”と呼んでいます。

サイトからの手口には、「遺産を受け取ってほ
しい、節税のためにお金をもらってほしい」
というものから、芸能人や芸能事務所のマネ
ージャーなどをかたって「あなただけに相談
したい」「相談に乗ってくれたら報酬を払う」
というものまで、いろいろなパターンがあり
ます。消費者に心理的圧迫を与えて、お金を
支払わせるケースもあります。

(記事は国民生活センターより抜粋)

1 通の間違いメールから、548万円を失う
詐欺にあった80代の女性がいます。(生徒さ
んじゃありませんよ)

ある日「約束すっぽかすなんてひどいよ！ 昨
日はずっと待ってたのに」というメールが届
きました。その後も続くメールに、その女性
は「きっと送り先を間違えているのに違いな
い。」と、相手を気遣って「送り先をお間違え
ですよ」と返信しました。

すぐにお礼と謝りの返事が来ました。

「教えてくれて助かった」「親切なあなたは
どんな人ですか？」と続き、「メル友になっ
て下さい」とお願いされたそうです。



メールの相手は途中から、送受
信に1通50~500円の料金か
かる有料サイトへと誘導し、
苦学生でお金がないので「メ
ール代を負担して下さい」と言
ってきたそうです。さらに、
自分の先輩、後輩の相談にも乗
って欲しいと頼まれたそうです。

メールの相手は礼儀正しく、思いやりのある
20歳の男子大学生。女性は自分を頼りにし
てくれるそのメールが、毎日待ち遠しかった
とも言っています。



「皆が私を頼りにする。感謝、
感激してお礼を言う。返事が
遅れると〈具合が悪いの?〉
と心配されて止められなくな
った」と女性。

ところが、残高不足で夫の施
設利用料引き落としが滞り、
入金要請の連絡を受けた息子
が問い質して事態が発覚。

女性は最初聞く耳を持たなかったのですが、
最後は息子がその女性のスマホを破壊して、
事態の終焉を迎えたそうです。

詐欺は相手の方が一枚も二枚も上手です。「あ
れ、ちょっとおかしいな」と思ったら、すぐ
に信頼できる誰かに話をしてみてください。
国民生活センターなどでは「積極的に情報収
集を」「必ず誰かに相談を」と呼びかけていま
す。普段からの情報収集は、何に對しても身
を守る術となります。独立行政法人国民生活
センター

<http://www.kokusen.go.jp/>